

英国金融政策（2023年11月）

14会合連続の利上げ後、2会合連続で政策金利を据え置き

2023年11月6日

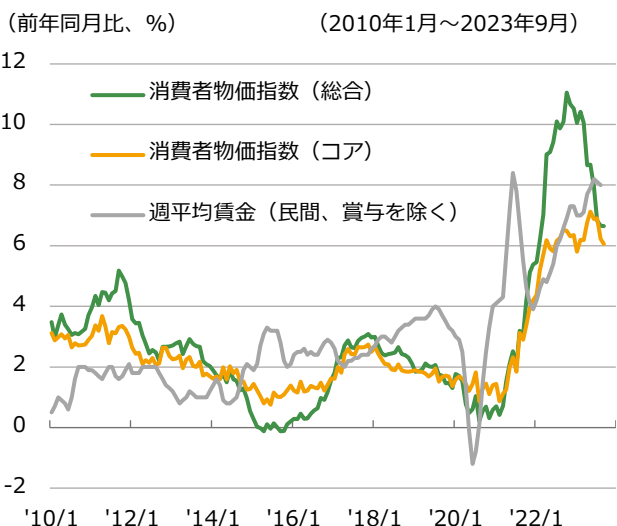
政策金利は現水準で長期化の見通し、利下げの示唆はなし

BOE（イングランド銀行）は11月1日（現地、以下同様）に終了した金融政策委員会で、市場予想通り政策金利を5.25%に据え置くことを決定し、2日に発表しました。2021年12月の利上げ開始以降、今年の8月まで14会合連続で利上げを実施していましたが、9月に続き今回も利上げを見送りました。総裁を含む6名が据え置きを、他の3名が0.25%ポイントの利上げを主張しており、基調的なインフレ圧力がより持続的であった際に金融引き締めが不十分なリスクと、過去の利上げの効果が発現しきっていないなか金融引き締めが過度になるリスクとを比較考量し、微妙なバランスの下で決定したと議事録に記されています。

議事録に拠れば、経済指標の弱さを理由に9月に利上げを見送った後、今回の会合まで経済データに大きな変化がなかったことが、政策金利を据え置いた現実的な理由と考えられます。金融政策報告書では、2024年7-9月期まで現水準近辺で推移するとの市場の織り込む政策金利を前提に、最もあり得る見通しとして、インフレ率は2025年末までに2%へ低下した後、2026年末には1.5%へ低下するとしています。但し、インフレの上振れリスクを考慮した場合は2025、2026年末ともほぼ2%との見通しです。

金融政策報告書での見通しの下、金融政策は長期間引き締めが必要がありそうだとBOEの判断であり、市場が織り込む程度に当面は政策金利の据え置きが見込まれます。より持続的なインフレ圧力が明らかになれば追加利上げが必要との記述はこれまでと同様で、少なくとも利下げの示唆はありません。

英国の消費者物価指数と週平均賃金



※コアは食品・エネルギー・アルコール・タバコを除く系列
※週平均賃金は3カ月移動平均で2023年8月まで
(出所) リフィニティブ

英国の金利と為替



※政策金利は発表日ベース
(出所) ブルームバーク

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。